



# 神戸景 百 109

カメラ

小山 保

## 大倉山体育館

田村 亨

〈兵庫県体育協会長〉

神戸には三様の体育館がある。大倉山の市立中央体育館、長田の県立スポーツ会館、神戸市が各区に造りつつある区民体育館の三様である。

中央体育館は大規模の体育大会と大観衆のためのものであり、平常は定期的に各競技種目の大切な練習場として使われている。長田のスポーツ会館は庶民の各種スポーツの入門所であり、体育のテスト場であり、スポーツ医事相談所でもある。この他スポーツの研究所として、また合宿練習場の役をつとめている。これは県が社会体育のためにモデルとして日本に初めて造ったもので県下はもちろん全国に数多く造られつつある先駆となったものである。神戸市内各区にできつつある区民体育館は宮崎市長が生活とスポーツを重視された新構想の現われの一つで、神戸には以上三様の体育館がそれぞれの特徴を発揮しつつよい運転を続けている。



## 三宮駅界限

岡部誠一

（元三宮商店長）

神戸市の都市計画でサンブラザに次いで、センターブラザがめでたく誕生した。神戸に生まれた私などには、こんな大きなイベントがあるたびに胸のなかを熱くする。

昭和初年の頃、まだ路上を走っていた阪神電車が、そこの西北角を大きく南へ迂回して、チンチン電車の滝道終点に連絡していた。その頃の三宮を知る人々はもう少し少ない。

戦後のセンター街の歩みや、つい昨日のようなさんちかタウンの完成さえも、もう十年一昔、時の速さに一驚し感心する。

歴史、時代が変わっても、私の眼に映る三宮は、いつでも庶民の親しい楽しい町（いや町が街の字になった今日でも）として栄えているのは嬉しい。

さらに第二、第三……の区画が見事に立派に出来上がる日を、切に心から願われるのである。

戸景  
神百 110





## 兵庫の運河

直木太一郎

〈神港倉庫株式会社〉

兵庫の運河には築島人柱の伝説がある。その清盛の経塚が大輪田橋のたもとにある。その隣の小祠住吉社は兵庫の米会所の連中が堺の住吉大社から分祀したもの、深川の正米市場とならび称された米会所も、最初はこの運河沿いにあった。近くに新川遊廓のあったことを知っている人も稀になった。

中学生の頃この運河は深川の木場よろしく貯木場となり、遠くに夕陽をうけてピラミッドのようなシルエットの高取山が見えていた。いまは運河沿いに日清、日本、増田の三大製粉の工場が並立して食糧工業の中心地になっている。

戸景  
神百





## 阪神高速道路

星住輝子

〈神戸真珠観覧会〉

43号線の激しいエキゾースト、車、車の間を逃れるように坂を登り切ると、明かるく視界が開ける。窓外から流れ込む風も、ひととき爽快か西宮のゲイトを入り魚崎を過ぎるころ、ぐっと眺望がよくなる。右に六甲摩耶山系、斜面にぎっしりと並ぶ家、そしてマンション、左に酒蔵造船工場、港に停泊するさまざまな船、快晴の日など海面がキラリとまばゆい。西宮と神戸間を、30分そこそこで走れる唯一の高速道路。制限速度60<sup>km/h</sup>では、ちよっぴりもどかしい感もあるが、下の道路で費す時間に較べれば、結構オンの字だと思う。便利でしかも、短かい区間をバラエティに富んだ眺望を楽しめる阪神高速道路は、二百円でも走る価値ありと思うが、ここで一言、一寸した事故や工事等で、渋滞を来すことのないよう、もう一車線考慮した計画をして欲しいものを……と。

戸景  
神百<sup>112</sup>



# 禅昌寺

永田耕衣

〈俳句〉

近來訪ねることを怠っているが、なつかしい禅刹だ。あのゆるやかな山門までの石段の幅の広さは、まず禅気に親しみを思えてくれる。あのロマンな感傷でぶらさがる雀の宿はどうなっているのだろう。それよりも、山気漂うこの禅庭で実生の楓に出会った私は、忘れもせぬ、そこに禅機満面の小微笑仏をおがむ心地であった。また、山盛りの無縁仏の群は、まさに無常感の定着した怒濤で、無限の哀感とその快感だ。しかし、禅刹も中味しだいだろう。ここには、心経の一字一字を線状に書きつらねて、エロチックな観音像を描く、そんな妙技に秀れた、酒豪の近藤英宗和尚が健にしている。禅刹には人間が居なければならぬ。人間が出入りしなければならぬ。その茶室は、今も海量底の閑けさをたたえて、賢人凡者をつねつね待ち侘びているにちがいない。





## 白川峠

室井 緯

（姫路学院女子短大教授）

本県きつ  
ての珍しい

## 神戸景百

114

地域である。まず地盤は中新世代というから、いまから数百万年もの昔に、山陰地域が大爆発した際の噴出物、すなわち火山灰が風に吹かれて東進、この地域を中心に堆積してできた地域で、凝灰岩とよんでいる。日本有数の化石産地として知られ、当所では日本に絶滅してしまったメタセコイア、フウ、オオガマツなど百余种の化石が知られている。この新天地は、いまや新興団地になって日本各地から移られた方々のベッド・タウンとなっている。

この造成地は強い火力で焼かれた火山灰の堆積物だけに肥料がまったくなく、生えている雑草も外国産のワイーピング・ラブ・グラス、コヌカグサ、メリケンカルカヤ、ヒロハノウシノケグサ、オーチャード・グラスなど、まるでアメリカの住宅街にでも立っているようである。今後、何十年後に日本産の雑草が優位になることであろうか。



□Image Kobe□鏡のひろば

# センタープラザ

7/26 START!

いつか会ったあの笑顔とまた出会える広場……

地階には食道街、1階2階には  
有名専門店が神戸らしさを競います



BOUTIQUE

**之** ゆき

センタープラザ1階 ☎ 332-2822  
(株) ミヤムラ 神戸元町3丁目

パリの服飾大使館

**装 苑**

センタープラザ2階 ☎ 331-2038  
大丸前店 ☎ 331-7550 プレタ工場 ☎ 881-0907

事務と暮しを豊かにする

**中野山門** 文具センター

センタープラザ店 さんちか店  
☎ 321-3333代 ☎ 391-4713

た こ 焼

**たちばな**

センタープラザ地下1階  
柳筋店 ☎ 321-3446・331-0572  
さんプラザ店 ☎ 391-3793

ぐらたんはうす

**サイン**

センタープラザ店 ☎ 332-2712  
さんプラザ西店 ☎ 391-1682 さんプラザ東店 ☎ 321-1827

フランスの香りをのせたクレープの店  
喫茶・ケーキ

**CHEZ GRÈPE**  
シェ・クレープ

センタープラザ地下1階  
☎ 331-2751







夏

か

ら、

秋



シンプルで、女らしさに満ちあふれた  
“おだやかな表情”に、人は秋の気配を  
感じて、ほっとするのです。

●写真の品：一見地味で、素直な配色で  
まとめたスポーティー感覚の装い。

2階レディースフロア



神戸もとまち  
**大丸**

電話 神戸(078) 331-8121





# 元町

## S hopping & eating

海・山が美しいワール神戸に、しっとりと落ちついたそれでいてハイカラな元町のムード。楽しい夢のあるお買物と、心こもった味わいを。



★婦人服飾

## ラ・モード

元町1番街 ☎ 331 5689

アートの秋にふさわしいラ・モードの彫刻のあるウインドウ。  
神戸らしさを大切にした、色と柄、そしてシルエットの特色。さりげなく、明るさと優雅さが漂う秋のモードです。

★世界の紳士服飾

## ウネ

元町1番街 ☎ 331 3112

初秋を彩る世界の紳士服飾の流れは、派手だったムードから、洪さと品位を大切に作るオーソドックス調にと復帰しています。  
クラシックな秋の装いを品揃えました。



★紳士服

## 柴田音吉洋服店

元町4丁目 ☎ 341 0693

柴田調は、遠くロンドンの香りの国際色豊かな神戸に育った日本の一流銘柄です。90年の歴史が、確かな仕立ての中に刻み込まれ、まごころと腕で風格ある一着をつくりまします。



★時計と眼鏡

## 元町眼鏡店

## 元町時計店

元町1番街 ☎ 331 1712

元町1番街のれんが道にふさわしいこのお店は、ユニークなデザインの眼鏡や時計、世界の一級品など豊富な品ぞろえです。

# ハイカラ



★喫茶・軽食

## 元町サントス

元町1番街  
☎331-1079

真夏に飲んでスツクリソフトなコーヒーとサントス特製のサンド。格調ある雰囲気!!  
昔は二人、今日は家族で立ち寄る懐かしい店。ティータイムをお楽しみ下さい。

★喫茶・軽食

## ル・モンド

元町2丁目  
☎331-4491

生クリームを浮かしたアイスオーレにアイスココアはかわいたのどをソフトに潤します。

テーブルのスペースを広くとった店内には活動派のヤングが多く、楽しい雰囲気のお店です。



★広東料理

## 元町別館牡丹園

元町1丁目11  
☎331-5790

ご家族連れには、生葉包、お酒やビールの肴には炒鮮奶、さすが本場神戸の中華料理とご好評です。1、2階はテーブル席3階はお座敷。30名様までの御宴会もお引き受けいたします。



★レストラン  
元町1番街  
☎331-1987

## 元町フルーツホール

店内に飾られた陶器は御主人のコレクション、どれも味わいの深いものばかり、料理の美味しさは勿論のこと、食器の良さも味をひきたてる大切なもの。味も雰囲気も最高級のお店です。

